

## 2020 年度 事業計画書(案)

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

### 1、事業実施の方針

#### ●新型コロナウイルス 感染リスクと虐待リスクを秤にかけて

新型コロナウイルスの影響は当分続くと予想しています。検査体制や医療体制の拡充がなされないと、秋冬には 2 度目の緊急事態宣言、一斉休校もあり得ます。いずれにしても、ワクチンや治療薬の普及まで、数年単位での付き合いを覚悟して活動を組み立てる必要があります。私たちは、子どもの生活を支えるために、下記の活動を、これまでの活動と並行して行っていく必要があると考えています。

#### ○子どものいる生活困窮世帯への食糧支援

休業要請や移動制限等により経済活動が停滞し、だいたいぶが関わる家庭の保護者の仕事が減り、収入が激減するでしょう。また、一斉休校で給食が出ない分の食費も家計を圧迫します。子どもの生活を支えるために、子どものいる困窮家庭にお米やレトルト食品、缶詰等の食材をセットで届けます。

#### ○(仮) ライフライン復旧基金を創設、ライフラインの止まった家庭に資金を給付

ライフラインが止まるなどのSOSに対しては、ライフラインをすぐに復旧するための資金給付ができる基金の創設を考えています。対象家庭には、家庭児童相談室や生活困窮者自立支援ワーカーの関わりを必須とし、生活状況の確認、SOS情報の信頼性を担保し、すぐに給付できるようにします。そして、だいたいぶ職員が支払いに立ち会うなどして、ライフラインが復旧、子どもたちの生活が守られるかを確認する予定です。

#### ○ひとり親世帯へのお弁当配布(株式会社時代村さんと協力して)を検討

#### ○ステイホームで見えなくなる子どもや母親の SOS を拾うため、カード配布を検討

#### ●母子の居場所「ひだまり」と「ひだまりキッズ(以下「キッズ」)」

ひだまり&キッズの子ども預かりも、今まで通りというわけには行きません。新型コロナウイルスの感染リスクと家庭の虐待リスクを天秤をかけながら、柔軟に活動を組み立てていく必要があります。

ひだまり&キッズの利用をケースごと、兄弟ごとの利用とし、虐待リスクの高いケースから受け入れをしていきます。利用が減ることで、心配なケースは、職員が訪問、食材を届けたり、1 対 1 の連れ出しをしたりします。感染リスクが低くなれば、徐々に 2 ケースごと、3 ケースごとの利用と元に戻していきます。万が一感染リスクが高くなるようであれば、ひだまりの利用を制限し、訪問での安否確認、食材お届け、インターネットを活用(Zoom 等)した居場所の開催も検討していかなければいけません。

いずれにしても新型コロナウイルスの影響で日本全体が疲弊していくでしょう。だいたいぶの支援者の皆さんも例外ではないかもしれません。これまでのようにご寄付がいただけても子どもとその家族に寄り添って行けるように、ファンドレイズ(寄付集め)の取り組みや、助成金の申請などして、活動を維持していかなければと考えています。

## 2、事業の実施に関する事項

### (1)特定非営利活動に係わる事業

#### ①虐待防止・発見のための相談事業

事業内容	日時	実施場所	従事者数	支出額
24 時間対応の相談窓口を開設し、電話や面談による相談事業を実施する。	毎日	・日光市家庭児童相談室 ・子どもと親の相談室	3 人	10,105,044
	<b>○日光市家庭児童相談室</b> ケース情報などが完全共有される中、日光市とだいじょうぶが協働で相談対応にあたっている。この分野に関する市の政策の優先順位の変化や、担当職員の異動などに左右されず、今の形を維持できるようにするために、意見交換の機会を持つなどして、相互の理解、信頼を深めていく。昨年度に引き続き、2 人の職員が相談員として、理事長がスーパーバイザーとして従事し、NPOであることの強みを生かしながら対応していく。 <b>○子どもと親の相談室</b> NPO独自の相談窓口として、子どもの年齢や状況などにより市の相談室の枠からはみ出してしまうケースを中心に対応していく。 新型コロナウイルスに対応して、食材配布体制の強化、ライフラインの SOS に対応するための基金の創設も検討していく。			

#### ②虐待されている子どもの保護に関する事業

事 業 内 容	日 時	実 施 場 所	従事者数	支出額
ショートステイ事業の実施	随時	Your Place ひだまり	2 人（相談員等兼任）	407,610
	実 施 内 容			
	日光市がショートステイの委託を再開した。だいじょうぶが契約の受け皿となり、あったかファミリー登録者との仲介若しくは、直接ひだまりでのステイを行う。新しくなった Your Place ひだまりの 2F をショートステイ用に整備した。そこを活用し、保育士の資格を持つ職員が泊まり込み対応する			

#### ③虐待防止のための啓発事業

事業内容	実施内容	支出額
児童虐待をテーマとした講演会や研修会の企画と運営、講師派遣、等	<b>○子育て応援セミナー（日光市委託事業）</b> 子ども虐待予防のための子育て講座を開催する。新型コロナウイルス感染防止に留意して運営する。 日光市子育て支援センターにて 参加定員それぞれ 10 人／従事者 1 人	72,650

<p>児童虐待をテーマとした講演会や研修会の企画と運営、講師派遣、等</p>	<p><b>○食べて遊んで学んで育つ、子ども応援隊</b></p> <p>日光市の子どもの貧困の現状とその原因、背景を調べ、どうすれば子どもの貧困をなくせるのか具体的な活動につなげていく。小学校2年、5年、中学校2年を対象に食生活の実態調査を行う。調査結果から、食事のリスク、学校の規模等勘案しモデル校を選定して学校に働きかけ、子どもたちへの定期的な朝食提供の実現を模索する。</p> <p>また、新型コロナウイルスが落ち着くことが前提だが、100人パーティーの開催を、感染防止に配慮しつつ、検討していく。市内各地域での協力メンバー発掘、生活困窮世帯の子ども発掘が目的。市内の社会福祉法人の集まりとも連携しながら、社会福祉法人の協力も得られるようにしていく。</p> <p><b>○体罰に代わる子育て方法を広めるための勉強会を実施する</b></p> <p>体罰禁止が法制化された。体罰は子どもにとってマイナスにしかないということを伝えると同時に、体罰に寄らない子育ての方法を伝える必要がある。その2点を広く啓発するための勉強会を主催する。新型コロナウイルス感染防止に留意し運営する。</p> <p><b>○講師派遣</b></p> <p>他団体や行政からの要請に応じて、講演会やパネルディスカッション等に人員を派遣する。WEB（Zoom等）での登壇も積極的に対応していく。</p> <p>随時／日本全国、各所にて／従事者3人</p> <p><b>○子ども虐待をなくそう県民の集い</b></p> <p>だいじょうぶが加盟する子ども虐待防止ネットワークとちぎで、シンポジウム等のイベントを企画、実施する。</p> <p>年1回／宇都宮市内にて／従事者8人</p> <p><b>○栃木県子どもの居場所連絡協議会</b></p> <p>県内で子どもの居場所を運営する団体の代表者が集まっている。だいじょうぶも加盟、情報交換を行い、合同職員研修を実施したり、新たな居場所の担い手育成を行う。</p> <p><b>○その他、視察研修の受け入れ、メディア取材の受け入れを随時行う。</b></p>	
--	---	--

#### ④児童虐待防止に関する研究事業及び政策提言

事 業 名	日 時	実 施 場 所	従事者数	支出額
虐待してしまう 親向けの回復プ ログラムの開 発・実施	9月8日～ 全13回+面接等	とちぎ福祉プラザ等	3人	1,059,000
	実 施 内 容			
	OMY TREE ペアレンツ・プログラム 現在3人のファシリテーターに加え、新しいファシリテーターを育成し、3人のうち誰かが欠けてもプログラムが実施できるように備える。新型コロナウイルス感染防止に留意し運営する。			

事 業 名	日 時	実 施 場 所	従事者数	支出額
各種委員派遣	随時	県内各所	2 人	0
	実 施 内 容			
	行政等が実施する各種委員会や市民会議に職員を派遣する。			

#### ⑤子どもが健全に育つ環境づくりを支援する事業

事業内容	日 時	実 施 場 所	従事者数	支出額
養育困難家庭 への訪問支援	毎日（随時）	・ ケースのご家庭等 ・ Your Place&高德ひだまり	5 人（兼任）	971,280
	事 業 実 施 内 容			
	○母親や子どもに寄り添い、家庭に行って様々な支援事業を行う 居場所利用ケースから家庭支援への移行を進めていく。			

事業内容	日 時	実 施 場 所	従事者数	支出額
乳幼児の一時的 な託児（保育） 事業	・月～金	・ひだまりキッズ	・3人	5,520,933
	事 業 実 施 内 容			
	<b>○ひだまりキッズの運営</b> 母親の養育力不足や、病気、貧困等の理由で支援が必要な乳幼児を預かり、保育園等に入園するなど所属が決まるまでの期間、一時的な保育を行っていく。 その結果、母親の育児ストレス軽減や就労支援につながり、子どもに対しては、家庭で欠けている養育をおぎない、健全な発達を促すことができる。 1日2人以上の保育士を配置し、定員を5人として、小規模無認可保育園に準ずる形での運営を行う。			

事業内容	日 時	実 施 場 所	従事者数	金 額
支援の必要な子どもと母子の居場所事業	・月～土	Your Place ひだまり	5 人	1,505,985
	・月、火、木、金	高德ひだまり	5 人	
	事 業 実 施 内 容			
	<p>虐待や貧困などの理由で、家で安心して暮らせない支援の必要な子どもを、放課後居場所に預かり、遊びの支援や食事提供、入浴や洗濯の支援等を行い、当たり前の生活を体験し、味方となる大人の存在を示していく。</p> <p>女の子や幼児の利用が増えてきている。将来的には子ども対応を主目的とした女性職員の増員を考えたいが、現実的には財源が乏しく難しい。そのためのファンドレイズに取り組んだり、当面はひだまりキッズ職員に応援を頼むなどし、対応していきたい。</p> <p>新型コロナの感染リスクと家庭のリスクを計りながら、活動の形を柔軟に変えていく。</p> <p><b>○様々な体験プログラムの提供</b></p> <p>職員の技術を生かした種々の自然体験プログラムなどを開催し、子どもたちの欠けた体験を補う。</p> <p><b>○不登校生の連れ出し支援</b></p> <p>昨年、不登校生の社会性や外出の機会を保つための連れ出し支援等が増えてきている。今年度も兼任で人員を配置し、対応する。</p>			

事業内容	日 時	実 施 場 所	従事者数	金 額
生活困窮者自立支援法に基づく子どもの学習支援事業	随時コーディネート 居場所は毎土曜	Your Place ひだまり	4 人（居場所兼任）	4,217,410
	事 業 実 施 内 容			
	<p><b>○高校生の中退防止事業</b></p> <p>生活困窮家庭の高校生を対象に、高校を無事に卒業し、社会的に自立していくことを目的に、居場所「のんびりカフェ」を運営する。相談業務で、学習支援事業、居場所の卒業生を対象に、家庭生活が不安定な中高生を居場所に誘う。居場所を利用していただく中で築いた職員との信頼関係を基に、情報を収集し個々のニーズに応じた支援を行っていく。2020 年度はのんびりカフェの事業として、通学型チャレンジ合宿を行う。学校への送り出しを行いながら、週末には自信がつくような自然体験チャレンジも行う。新型コロナウイルス感染防止に留意しながら運営する。</p>			
	<p><b>○社会的な居場所づくり事業</b></p> <p>※母子の居場所事業に含む</p> <p><b>○学習支援事業</b></p> <p>※S&amp;S 合同会社、(株)フィデス、N P O 法人咲らん坊に委託</p>			
				15,491,536

事業内容	日 時	実 施 場 所	従事者数	金 額
社会的自立を目指す母子のステップハウス事業	随 時	高德ひだまり	3 人（居場所兼任）	135,000
	事 業 実 施 内 容			
	離婚やDV、退職などの理由で、行き場を失った母子を対象とした、支援付き無料低額の住居を提供する。1 ケース 3 か月を目途に自立に向け準備していただく。利用中に自立に必要な資金を貯めるため、就労の援助をし、並行して育児や家事を一緒に行いながら学んでいただく。			

## (2)その他の事業

事 業 名	事 業 内 容	実 施 日 時	支出
「だいじょうぶ」グッズやその他の物品の販売事業	バザーなどの企画・運営	○バザー（有志実行委員会にて実施） ・あかね祭り 9 月 ・シルバー祭り 3 月	0